舞鶴市議会
産業建設委員会
活動報告

- 山口県宇部市における取組の調査
- 大分県中津市における取組の調査
- 大分県日田市における取組の調査

産業建設委員会調査視察　実施日：令和8年5月11日～13日

視察の目的

創業・起業支援については、チャレンジやスタートアップの支援が必要と考えており、学生や若者の支援に取り組まれている宇部市と、女性起業家や集落機能の維持に取り組まれている中津市を調査することとした。

また、由良川の治水対策のほか、近年の豪雨災害では、高潮の影響も含めて市街地の浸水が課題となっていることから、過去の豪雨災害の経験を踏まえて水路改修等の浸水・治水対策を実施されている日田市を調査することとした。

［産業建設委員会の重点事項］

(1) 浸水対策の推進及び治水対策の促進に関する調査研究

(2) 水産業の振興に関する調査研究

(3) 創業・起業の支援に関する調査研究

舞鶴市議会のホームページに視察報告書を掲載していますので、ご覧ください。

視察先及び日程

日　　程		視察先	調査事項
令和8年5月11日（月）	午後2時～3時30分	山口県宇部市	創業・起業支援について
令和8年5月12日（火）	午前10時～11時30分	大分県中津市	創業・起業支援について
令和8年5月13日（水）	午前9時30分～11時	大分県日田市	浸水対策について

産業建設委員会調査視察　実施日：令和8年5月11日～13日

【山口県宇部市】調査事項：創業・起業支援について

≪宇部市の取組の概要≫

◇　豊富な地域リソースを活かし、成長産業分野（医療・健康、環境・エネルギー、次世代技術等）に重点を置いた支援を進めている。

◇　コア拠点となる「うべスタートアップ」は、ワンストップ相談やコワーキングスペースの提供など、日常的なビジネス拠点として地域に定着。

◇　若者や市内企業、支援機関等が一体となる「起業コミュニティ」を構築し、若者の地元定着とオープンイノベーションを推進。



拠点となる うべ産業共創イノベーションセンター
（愛称：うべスタートアップ）



毎年開催されている
高校生ビジネスプランコンテスト

≪委員の所感≫

○　若者の起業意識の醸成やスキルアップ、市内企業との繋がりを創出している点などが参考になった。

○　当市の「舞鶴まちなか高専構想」や「ローカルベンチャー創生事業」を進める上でも大変参考になる取組である。

○　産官学金や県との広域連携を通じてエコシステムとして回す考え方を、当市の拠点機能と補助制度の具体化に活かしていきたい。

○　高校生ビジネスプランコンテストなど学生への起業教育や支援といった、次世代を担う人材育成にも積極的に取り組まれている。

産業建設委員会調査視察　実施日：令和8年5月11日～13日

【大分県中津市】調査事項：創業・起業支援について

≪中津市の取組の概要≫

◇　若年女性の流出という点に着目した女性起業支援と、中山間地域の生活インフラ維持に特化した独自の創業支援などを実施。

◇　女性起業支援事業では、コミュニティ「arch」を核に、学び・資金・伴走支援など丁寧なフォロー体制を構築。

◇　集落の維持・定住促進を目的とした「中山間地域創業・事業承継支援補助金」を創設。居住者に手厚い支援もあり、高い事業継続率を達成。



女性起業家支援事業
「arch」の
リーフレット



≪委員の所感≫

○　中津市では創業・起業支援が単なる補助制度にとどまらず、地域の産業構造や、若年女性の流出といった人口動態の課題に直結した設計と、伴走支援・ネットワークによって成果につなげている。

○　共感を呼ぶリーフレットの文言など、ターゲットへの高い訴求力ときっかけづくりの工夫は参考にしたい。

○　市・商工会議所・金融機関が連携し、4つの必須知識を網羅する「特定創業支援等事業」を効果的に運用していると感じた。

○　「中山間地域創業・事業承継支援補助金」は、起業によって生活インフラを守る先進事例で、当市にとっても大変参考になる。

産業建設委員会調査視察　実施日：令和8年5月11日～13日

【大分県日田市】調査事項：浸水対策について

≪日田市の取組の概要≫

◇　日田市では、平成24年以降、短期間に5度にわたる大規模な豪雨災害に見舞われている。

◇　その経験を、雨水管理計画の体系へフィードバックされている。

◇　グラウンドを一時的な雨水貯留施設としての活用やライニング工法等による流下能力の向上といったハード対策に加え、「止水板設置工事費補助事業」のように、現地調査や住民の声を反映した即効性のあるソフト施策にも取り組まれている。





止水板の設置例



ライニング工



掘下げ工（根継・底張）

≪委員の所感≫

○　一時的な増水に有効な止水板の設置は、当市の高潮被害が多発する地域にも効果的であり、今後の防災施策としてぜひ導入・活用すべきと感じた。

○　豪雨の都度 管理計画を見直し、100mm前後の大雨も想定した日田市の具体的な設置数値や計画策定のスケジュールを参考に、当市の計画策定に向け、議論を深めたい。

○　豪雨の激甚化が進み、従来の想定を超える事象への対応が課題となる中、国や企業等と連携した「流域治水」に取り組む姿勢が印象的であった。